

砂浜の海洋生物

釧路湾の西側は、平坦な砂浜と砂の海底が広がり、魚が隠れられる場所はほとんどありません。釧路湾の西側に住む魚の特徴と生存技術は、岩がちな東側の魚のものとは異なります。

天然の迷彩

これらの砂地には、ヌマガレイ（学名：Platichthys stellatus）、クロガシラガレイ（学名：Limanda schrenki）、メガネカスベ（学名：Raja pulchra）など、多くの種類の平たい魚が生息しています。これらの種は、平らな体と、砂の海底に合った体色をしています。キュウリウオ（学名：Osmerus mordax dentex）やチカ（学名：Hypomesus japonicus）といった細身の魚は銀色で、砂にまぎれて目立ちません。柔らかい砂の海底は、ホタテガイ（学名：Patinopecten yessoensis）やウバガイ（学名：Pseudocardium sachalinense）といった軟体動物にとって理想的な環境です。ウバガイは、捕食者から逃れるために、砂の下にもぐることができます。